

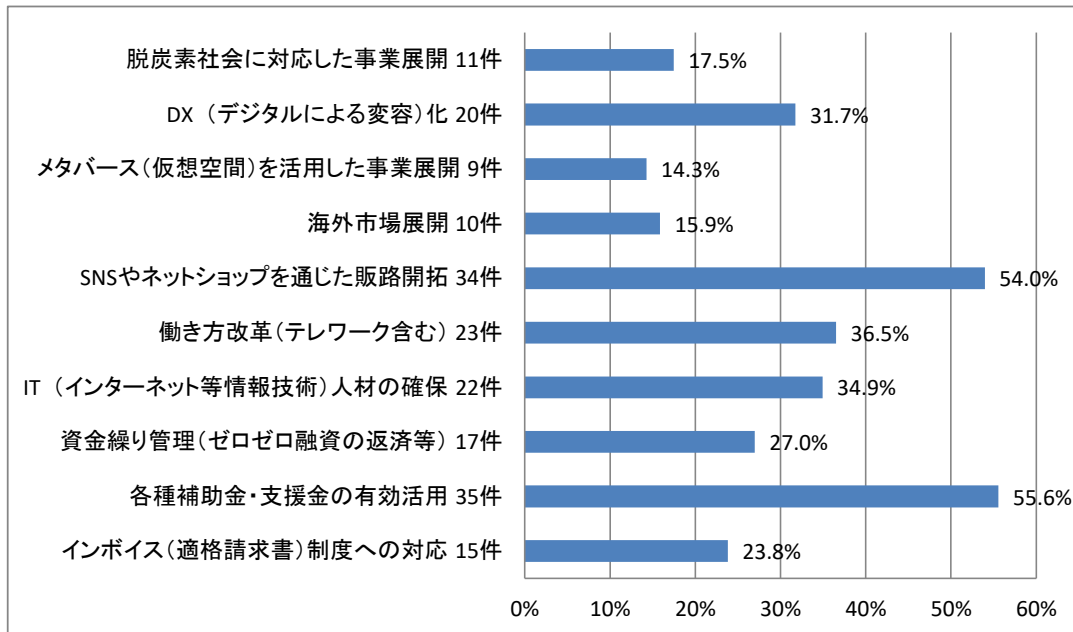
【事業者さま向け】経営力向上に関するアンケート

1 調査概要

- (1) 調査の目的 市内事業者のポストコロナ時代における経営力の向上のためのニーズ・課題を調査するため
- (2) 調査対象 河内長野市役所LINE公式アカウント友だち登録者 ＋ 事業者支援窓口LINE(産業観光課)友だち登録者
- (3) 調査期間 令和4年8月4日(木)～8月11日(木)
- (4) 回答数 63件
- (5) 担当課 河内長野市環境経済部産業観光課

2 調査結果

- 1 次のうち、ポストコロナ時代における企業の経営力向上に必要なだと感じているものを選択してください。(複数選択可) 有効回答数 63



- 2 企業の経営力向上のための、Q1で選択した項目を選んだ理由や現在の課題をご記入ください。(任意) 有効回答数 29

No. 自由意見(任意) 29件	
1	国内市場の縮小は避けられないため、海外を視野に展開が必要。
2	人口減少の中こちらから顧客にアクセスすることが大切だと思うが、そのための道具も知識も持ち合わせていないため。
3	個人経営には大きすぎる環境変化である。行政から何らかの援助が必要
4	今後は益々、ネットやAIが中心になるので専門知識や技術を持つ人材育成が必要。海外展開はリスクもあるが、人口減少が進む国内に留まっていれば大きく成長することは難しいと思う。
5	人手不足。コロナ禍で、医療業界は大変なことになっている。
6	経営環境は悪くなる一方ですが最低賃金上がることに伴い、末端の労働者がリストラなどの影響を負うことになるので
7	①DXによる個人情報漏洩まだ心配(行政の信頼に疑問) ②ITと超高齢化問題にギャップあり。
8	移動制限下で販路開拓はネット活用しかない。短期的な資金繰りへの援助は助かる
9	収入減を補う為

10	世界の常識になっている脱炭素や商品のどういふうな使い方や組み合わせたい物など可能性を模索したい
11	今以上にIT化が必要です。
12	人が集まらない。人材不足。
13	インボイスによる明確化の推進は良いが、なかなかついていけない。
14	下請業者の確保が最重要課題です。
15	コロナ禍で、家族と過ごす時間の使い方について強く考えさせられている。今のままで良いのか？ 今まで遠ざかってきたSNSを活用する事で、生産性をあげ無駄な労力を削ぎ落とし、自分と家族の理想に近づけたらと取り組んでいる。
16	経営の健全化
17	資金繰り、コロナ禍で業態変化によりネットを活用したビジネス転換に課題がある。
18	新たなセールスチャネルの開拓が重要。その為のSNSやWEBの利用に関する知識をつける事。また、たとえば市が市内企業向けのWEBショップの開設などをしてもらえると助かります。
19	今私たちができる範囲の努力が回答の通りです。借入せず借金を増やさず、経済の復活を待っている状態です
20	SNSなどに力をいれないと生き残れない
21	インボイスは必要
22	資金調達
23	自分一人で経営しており、仕事は取引先から委託されたもののみです。コロナの影響で取引先の仕事量が減少したのに伴い、委託される量も激減しております。一人である事、日によって仕事量が変動する事から事業拡大は難しく、身動きの取れない状態です。かと言って、売り上げ激減の為このままという訳にもいかず、支援金等に頼らざるを得ないのですが、その頼みの支援金でも足りず八方塞がりです。
24	人材不足
25	スマホ普及により、広告、宣伝効果は新聞折り込み等より格段に上がってある。時短営業の協力金がもらえない仕出し弁当営業はコロナで同じように影響を受けている。
26	清掃業を営んでいる。業界は高齢化が進み、高付加価値化や生産性の向上が難しくなっている。若い世代が、働きたいと思える働き方を、創っていかなければならないが、それは顧客層の清掃に対するマインドから変えていかなければならない。
27	業務のデジタル化。
28	時代の変革期に入ってる現在、人材、IT活用等様々な事を考え、変化に対応していかなければいけない今般、選んだ課題は「全部本気」で考え向き合っていかなければいけない、課題だと思います。
29	ニーズを的確に把握ツールを持つこと

3 Q1で選択した項目以外に企業の経営力向上のために必要だと感じているものがあれば、ご記入ください。(任意)

有効回答数
18

No. 自由意見(任意) 16件	
1	人材確保、人材育成
2	アイデア 行動力 信念
3	外国への援助並みの国内企業向け10年間無利息融資があれば。
4	雇用条件における、労働年齢履歴書の生年月日記載の撤廃
5	合理化
6	人材の確保
7	正確性、安全性、品質性、を保てる需要の向上
8	人材と資金
9	経営者向けのセミナー
10	IT利用のための知識。
11	資金力
12	経営健全化。財務健全化。
13	販路拡大
14	作業の機械化及び標準化。
15	商品開発
16	人材の確保